

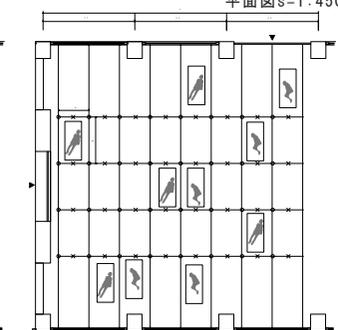
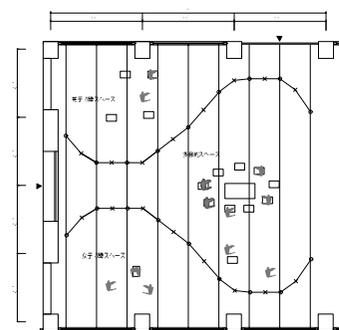
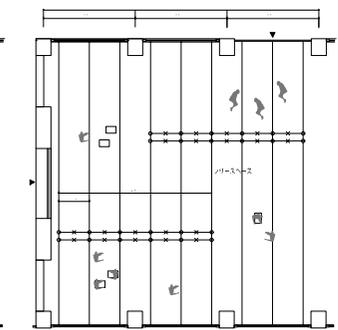
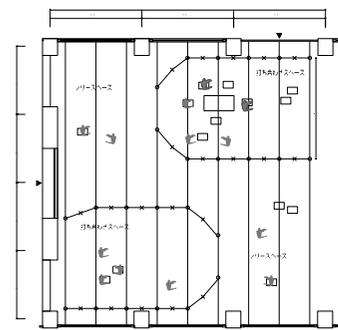


a. コの字型

b. 一の字型

c. ひょうたん型

d. グリッド型



当プロジェクトは、鹿児島県屋久島西方に位置する口永良部島において、建築と教育の分野から離島活性化を目指すプロジェクトである。松原弘典研究室は、長谷部葉子研究室と島民の方々と協働で活動しており、今年夏は、大学生の他、郁文館高校の高校生・教員含め約40名が渡航し、プロジェクトを行った。まず宿泊施設として島の交流拠点の一つである体育館にて、布と竹棒を用いた間仕切り設計を行った。体育館という一つの大きな空間で可動式間仕切りを用いることで、ワークショップを行う場所、寝る場所等、それぞれの用途に合わせて空間をうまく使うことができた。次に行燈設計では、島民や高校生も交えたワークショップから始まり、2日間の祭りでは例年とは一味違う灯火の演出をすることができた。台風の影響により渡航が遅れたものの、両プロジェクトともよい成果出すことができた。自ら設計したものを大勢の人に使ってもらうという建築設計ならではの体験を通し、今後の活動に向け意義のある経験ができた。(後藤優実)